

特集 「蚊媒介性感染症」

蚊媒介感染症に関わる長野県行政の取り組み

長野県健康福祉部食品・生活衛生課 小平 満

長野県では、長野県蚊媒介感染症対策担当者会議を平成27年度から開催しています。平成28年度は、7月6日に松本合同庁舎講堂において開催したところ、市町村及び保健福祉事務所担当者約110名が参加されました。

今年度は、「蚊媒介感染症について」「蚊駆除対策について」「長野県における蚊媒介感染症対策について」の3項目について研修を行いました。まず「蚊媒介感染症について」ですが、長野保健福祉事務所の塚田所長に、蚊媒介感染症の国内で発生が危ぶまれるデング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、ウエストナイル熱について病原体の特徴、疫学、臨床像等について説明していただきました。

次に、日本防疫殺虫剤協会技術委員の足立雅也先生から、「蚊駆除対策について」を説明していただきました。足立先生は一昨年国内でデング熱が発生した際に、代々木公園で蚊の駆除に携われた方であり、動画を交えて、その時の様子を説明していただきました。実際に蚊媒介感染症が発生した場合の蚊の駆除は、ウイルスを保有している蚊を1匹残らず1回で駆逐しなければならず、確実に駆除するためにはそれなりの経験が必要になるとのことでした。また、平常時の対策としては、成虫蚊と幼虫蚊への対策が必要となり、幼虫蚊の発生防止対策として、水たまりなどの発生源を無くしていくことが重要になることを説明していただきました。

最後に、長野県の蚊媒介感染症対策として、長野県健康福祉部保健・疾病対策課、食品・生活衛

生課から、現在の取組状況を説明しました。

平常時の対応として、感染リスクが高いと考えられる公園等の蚊の生息密度を監視し、生育密度を下げる対策が重要となります。今年度から市町村から調査候補地として推薦を受けた、松本城(松本市)、みずべ公園(下諏訪町)の2地点を定点モニタリング地点として選定し、成虫蚊の発生数、季節による消長の把握をするために、7月から9月下旬まで約2週間に一度、CO₂トラップを使用し調査しています。

また、新たに県内で蚊媒介感染症が発生した場合の感染地における蚊の駆除を円滑に実施するために、長野県ベストコントロール協会と薬剤等の備蓄や市町村等からの駆除要請への協力等に係る協定を締結しました。

県内で蚊媒介感染症は、まだ、発生していませんが、日ごろから蚊の発生源を無くすことや蚊に刺されないようにすることが感染防止策となりますので、御留意、御協力をお願いします。



写真 松本城内に設置したCO₂トラップ